

令和2年度  
**印西市民アカデミーだより**  
 ぶらす  
 第25号

**印西の歴史散策 9**

3月9日(火)午後、春の訪れを告げる梅や河津桜が咲く鎌苅地区の里山を散策しました。散策コースは、印旛支所→一本松湧き水→鎌苅宗像神社→鷺宮神社→東祥寺→日本医科大学千葉北総病院ドクターヘリ発着場→印旛支所(約5.0km・2時間30分)です。奥の方まで広がる谷津田の風景は見応えがあります。昔から印旛沼と共に歩んできた歴史を感じます。



鎌苅干拓地の風景



昔から湧き水の名所として知られている「一本松湧き水」。田んぼの淵から涔々と湧いています。



一本松揚水機場で汲みあげた印旛沼の水は、本埜・印旛地区の田んぼに用水として供給されます。



印旛沼の北岸に分布している宗像神社 13社の一つである鎌苅宗像神社。本殿の彫物も立派で鎌苅地区で大切に信仰されていることが伺えます。



550余年の歴史を誇る曹同宗大雄山東祥寺。鐘楼堂と山門が一体になっている鐘楼門は大変珍しい。特別に鐘を突かせていただきました。ありがとうございました!



東祥寺の参道の右脇に鎮座している鷺宮神社。印西市内では数少ない神社のひとつです。



日本医科大学千葉北総病院敷地内に千葉県が備えているドクターヘリ。時速200kmで飛行できます。